

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	思春期早発症の診断頻度とリスクファクターの検討
研究期間	実施許可日 ～ 2025年 3月 31日
研究の対象	2014年4月～2023年3月に当院で思春期早発症の診断を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（出生歴：出生歴、思春期徴候の発現年齢、思春期段階、身長、体重、骨年齢、血液検査結果、両親の身長、思春期開始時期、居住地（市町村のみ）、生年月日、カルテ番号 等）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（）</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	<p>■自施設のみで利用</p> <p><input type="checkbox"/>多施設共同研究グループ内（提供先：）（提供方法：）</p> <p><input type="checkbox"/>海外へ提供（国名：）（個人情報保護に関する制度の有無：）（提供方法：）</p> <p><input type="checkbox"/>その他（提供先：）（提供方法：）</p> <p>■利用予定日（実施許可日： 年 月 日）</p>
研究組織	<p>「研究代表機関」</p> <p>旭川医科大学 小児科 鈴木 滋</p> <p>「研究共同機関」</p> <p>日本赤十字北海道看護大学 臨床医学領域 伊藤 善也</p> <p>旭川厚生病院 小児科 白井 勝</p> <p>旭川赤十字病院 小児科 向井徳男</p> <p>「既存試料・情報の提供のみを行う機関」</p> <p>豊岡中央病院 小児科 伊藤 善也</p>
研究の意義、目的	<p>思春期早発症は、体の成長や変化が通常よりも早く進む状態です。思春期の始まりは、体重や子ども時代の食事、運動量、心の状態、電磁場への接触など、いくつかの環境の要素に影響を受けます。これらの要素の中には、思春期早発症の発症に関連するものもあります。</p> <p>2020年から広まったCovid-19パンデミックでは、思春期早発症の診断数が増える可能性があるという報告がありますが、まだはっきりした結果は出ていま</p>

	<p>せん。</p> <p>この研究では、旭川市における Covid-19 パンデミック前後での思春期早発症の診断数を調べ、その期間ごとの患者さんの思春期の状態の違いについて詳しく分析します</p>
研究の方法	<p>2014年4月1日～2023年3月31日までの間に思春期早発症と診断された患者の診療録を用いて、年次毎の患者数を調査します。また、年次毎の思春期発現年齢、出生歴、身長・体重、検査所見等を集計し、比較検討します。</p>
その他	<p>特になし</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学小児科 鈴木 滋（研究責任者） 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話 0166-68-2481、FAX 0166-68-2489</p> <p>研究代表者： 旭川医科大学小児科 鈴木 滋</p>